

勉誠出版

日本近世文学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品 **20%OFF**

割引クーポンコード: a2d3f065a4

(期限: ~2022年7月31日)

謹啓

日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。

当リストの新刊・近刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。

この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。

ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: a2d3f065a4 (期限: ~2022年7月31日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください!

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費/私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- ・**3000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス**(※ 海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
日本近世文学会の会員であることをお知らせください。**

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



勉誠出版 新刊・近刊書籍リスト（2021・2022年刊行）

No.	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価（税込）	割引価格（税込）	分野	注文数
1	中世東国日蓮宗寺院の地域的展開	佐藤博信 著	2022/05	978-4-585-32016-6	¥13,200	¥10,560	日本史（前近代）・歴史・研究書	
2	近代中国美術の境界—越境する作品、交錯する藝術家 〈アジア遊学〉	瀧本弘之・戦咲梅 編	2022/05	978-4-585-32515-4	¥3,850	¥3,080	美術・音楽・芸能・研究書	
3	中世神道入門—カミとホトケの織りなす世界	伊藤聡・門屋温 監修／新井大祐・鈴木英之・大東敬明・平沢卓也 編	2022/04	978-4-585-31006-8	¥4,180	¥3,344	哲学・宗教・民俗・研究書	
4	入門 中国学の方法	二松學舎大学文学部中国文学科 編	2022/04	978-4-585-30005-2	¥1,760	¥1,408	東洋文学・文学・研究書	
5	杜甫研究年報 第五号 〈杜甫研究年報〉	日本杜甫学会 編	2022/04	978-4-585-39445-7	¥2,200	¥1,760	東洋文学・文学・研究書	
6	北条義時の生涯—鎌倉幕府の草創から確立へ	菊池純一 監修／北条氏研究会 編	2022/04	978-4-585-32014-2	¥3,080	¥2,464	日本史（前近代）・歴史・研究書	
7	地域文化の可能性	木部暢子 編	2022/03	978-4-585-32015-9	¥2,970	¥2,376	日本語・言語・研究書	
8	訳注 琉球文学 『佐銘川大ぬし由来記』『周蘭両姓記事』『思出草』『浮繩雅文集』『雨夜物語』『永峰和文』	島村幸一・小此木敏明・屋良健一郎 著	2022/03	978-4-585-39009-1	¥12,100	¥9,680	日本古典文学・文学・研究書	
9	中国の娯楽とジェンダー—女が変える／女が変わる 〈アジア遊学〉	中国ジェンダー研究会 編	2022/03	978-4-585-32513-0	¥3,080	¥2,464	社会科学・研究書	
10	奈良絵本『太平記』の世界—永青文庫所蔵『絵入太平記』全挿絵影印ならびに	中根千絵・森田貴之 編	2022/03	978-4-585-39007-7	¥55,000	¥44,000	美術・音楽・芸能・研究書	
11	アジアの出産とテクノロジー—リプロダクションの最前線 〈アジア遊学〉	白井千晶 編著	2022/03	978-4-585-32514-7	¥3,080	¥2,464	哲学・宗教・民俗・研究書	
12	一刀齋先生剣法書訳注 Ittousai Sensei Kenpousho: An Annotated Text in Modern Japanese—剣豪伊藤一刀齋の教え	竹田隆一・長尾直茂 編	2022/03	978-4-585-37002-4	¥1,980	¥1,584	日本史（前近代）・歴史・研究書	
13	論究日本近代語 第2集	日本近代語研究会 編	2022/03	978-4-585-38522-6	¥16,500	¥13,200	日本語・言語・研究書	
14	宋版一切経（福州版）調査提要—本源寺蔵の調査を通して	福州版一切経調査研究会 編	2022/03	978-4-585-31010-5	¥7,150	¥5,720	東洋史・歴史・研究書	
15	宗教遺産テキスト学の創成	木俣元一・近本謙介 編	2022/03	978-4-585-31008-2	¥16,500	¥13,200	哲学・宗教・民俗・研究書	
16	ことば・ほとけ・図像の交響—法会・儀礼とアーカイヴ	近本謙介 編	2022/03	978-4-585-31009-9	¥13,200	¥10,560	哲学・宗教・民俗・研究書	
17	大日本帝国期の建築物が語る近代史—過去・現在・未来 〈アジア遊学〉	上水流久彦 編	2022/02	978-4-585-32512-3	¥3,080	¥2,464	自然科学・研究書	
18	書物学 第19巻 紙のレンズから見た古典籍 〈書物学〉	編集部 編	2022/02	978-4-585-30719-8	¥1,980	¥1,584	日本古典文学・文学・研究書	
19	本朝文粹抄 七	後藤昭雄 著	2022/02	978-4-585-39511-9	¥3,520	¥2,816	日本古典文学・文学・研究書	
20	日米交流史の中の福田なをみ <i>Naomi Fukuda and the History of Japan-U.S. Exchange</i>—「外国研究」とライブラリアン <i>“Foreign Area Studies” and the Librarian</i>	小出いずみ 著 Izumi Koide	2022/02	978-4-585-30004-5	¥7,700	¥6,160	図書館学・研究書	
21	中国道教美術史 漢魏晋南北朝篇	李松 著／土屋昌明・齋藤龍一 監訳／廣瀬直記・熊坂聡美・因幡聡美 訳	2022/02	978-4-585-37001-7	¥38,500	¥30,800	美術・音楽・芸能・研究書	
22	古文書研究 第92号	日本古文書学会 編	2022/01	978-4-585-32402-7	¥4,180	¥3,344	日本史（前近代）・歴史・研究書	
23	飛鳥井家歌学の形成と展開	日高愛子 著	2022/01	978-4-585-39006-0	¥12,100	¥9,680	日本古典文学・文学・研究書	
24	コレクションとアーカイヴ—東アジア美術研究の可能性	板倉聖哲・塚本鷹充 編	2022/01	978-4-585-37000-0	¥10,450	¥8,360	美術・音楽・芸能・研究書	
25	宗教芸能としての能楽 〈アジア遊学〉	高橋悠介 編	2022/01	978-4-585-32511-6	¥3,300	¥2,640	哲学・宗教・民俗・研究書	
26	知っておきたい和食の文化	佐藤洋一郎 編	2022/01	978-4-585-33001-1	¥3,080	¥2,464	人文・一般書	
27	中国史書入門 現代語訳 北齊書	氣賀澤保規 監修／池田恭哉・岡部毅史・梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之 訳	2021/12	978-4-585-29612-6	¥6,600	¥5,280	東洋文学・文学・研究書	
28	書物に魅せられた奇人たち—英国愛書家列伝	高宮利行 著	2021/12	978-4-585-39005-3	¥4,180	¥3,344	欧米文学・文学・研究書	
29	合戦図 描かれた〈武〉	中根千絵・薄田大輔 編	2021/12	978-4-585-32013-5	¥17,600	¥14,080	日本史（前近代）・歴史・研究書	
30	市民とつくる図書館—参加と協働の視点から 〈ライブラリーぶっくす〉	青柳英治 編著	2021/12	978-4-585-30003-8	¥2,200	¥1,760	図書館学・研究書	
31	玄奘三蔵—新たな玄奘像をもとめて	佐久間秀範・近本謙介・本井牧子 編	2021/12	978-4-585-31005-1	¥13,200	¥10,560	哲学・宗教・民俗・研究書	

勉誠出版 新刊・近刊書籍リスト（2021・2022年刊行）

No.	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価（税込）	割引価格（税込）	分野	注文数
32	都市からひとく西アジア—歴史・社会・文化 〈アジア遊学〉	守川知子 編	2021/12	978-4-585-32510-9	¥3,080	¥2,464	世界史・歴史・研究書	
33	両面の鬼神（オンデマンド版）—飛騨の宿禰伝承の謎	尾関章 著	2021/12	978-4-585-85414-2	¥2,640	¥2,112	人文・一般書	
34	聖徳太子信仰とは何か	榊原史子 著	2021/12	978-4-585-31007-5	¥4,180	¥3,344	哲学・宗教・民俗・研究書	
35	水門 第三十号—言葉と歴史 〈水門〉	水門の会 編	2021/11	978-4-585-32461-4	¥3,300	¥2,640	日本古典文学・文学・研究書	
36	慶應義塾図書館蔵 論語疏卷六 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵 論語義疏 影印と解題研究	慶應義塾大学論語疏研究会 編	2021/11	978-4-585-31004-4	¥19,800	¥15,840	東洋文学・文学・研究書	
37	列伝体 妖怪学前史	伊藤慎吾・水原亭水泉 編	2021/11	978-4-585-32010-4	¥3,080	¥2,464	人文・一般書	
38	室町前期の文化・社会・宗教—『三国伝記』を読みとく 〈アジア遊学〉	小助川元太・橋本正俊 編	2021/11	978-4-585-32509-3	¥3,080	¥2,464	哲学・宗教・民俗・研究書	
39	日本中世社会と村住人	蔵持重裕 編	2021/10	978-4-585-32009-8	¥10,450	¥8,360	日本史（前近代）・歴史・研究書	
40	室町文化の座標軸—遣明船時代の列島と文事	芳澤元 編	2021/10	978-4-585-32011-1	¥10,780	¥8,624	日本史（前近代）・歴史・研究書	
41	古典は遺産か？ 日本文学におけるテキスト遺産の利用と再創造 〈アジア遊学〉	Edoardo GERLINI・河野貴美子 編	2021/10	978-4-585-32507-9	¥3,080	¥2,464	日本古典文学・文学・研究書	
42	英国初期印刷本研究への誘い—書誌学から文学・社会・歴史研究へ	向井剛 著	2021/10	978-4-585-32012-8	¥6,600	¥5,280	世界史・歴史・研究書	
43	近代日本語教科書語彙索引	伊藤孝行 編	2021/10	978-4-585-38002-3	¥8,800	¥7,040	日本語・言語・研究書	
44	従軍日記と報道挿絵が伝える庶民たちの日露戦争	西川武臣 著	2021/10	978-4-585-32008-1	¥4,180	¥3,344	日本史（近現代）・歴史・研究書	
45	資料論がひらく軍記・合戦図の世界—理文融合型資料論と史学・文学の交差 〈アジア遊学〉	井上泰至 編	2021/10	978-4-585-32508-6	¥3,520	¥2,816	日本史（前近代）・歴史・研究書	
46	首里城を解く—文化財継承のための礎を築く	高良倉吉 監修／島村幸一 編	2021/09	978-4-585-32001-2	¥4,180	¥3,344	日本史（前近代）・歴史・研究書	
47	アヘンからよむアジア史 〈アジア遊学〉	内田知行・権寧俊 編	2021/09	978-4-585-32506-2	¥3,080	¥2,464	東洋史・歴史・研究書	
48	戦国時代劇メディアの見方・つくり方—戦国イメージと時代考証	大石学・時代考証学会 編	2021/09	978-4-585-32006-7	¥3,520	¥2,816	人文・一般書	
49	説話の東アジア—『今昔物語集』を中心に	高陽 著	2021/09	978-4-585-39004-6	¥13,200	¥10,560	日本古典文学・文学・研究書	
50	怪異学講義—王権・信仰・いとみ	東アジア怪異学会 編	2021/09	978-4-585-32007-4	¥3,520	¥2,816	哲学・宗教・民俗・研究書	
51	近世の村と百姓	渡辺尚志 著	2021/08	978-4-585-32002-9	¥10,780	¥8,624	日本史（前近代）・歴史・研究書	
52	中世武家領主の世界—現地と文献・モノから探る	田中大喜 編	2021/08	978-4-585-32003-6	¥4,180	¥3,344	日本史（前近代）・歴史・研究書	
53	古建築調査ハンドブック	山岸常人・岸泰子・登谷伸宏 著	2021/08	978-4-585-35000-2	¥1,540	¥1,232	人文・一般書	
54	書物のなかの近世国家—東アジア「一統志」の時代 〈アジア遊学〉	小二田章・高井康典行・吉野正史 編	2021/08	978-4-585-32505-5	¥3,300	¥2,640	東洋史・歴史・研究書	
55	日本古代の仏教者と山林修行	小林崇仁 著	2021/08	978-4-585-31003-7	¥13,200	¥10,560	哲学・宗教・民俗・研究書	
56	古文書研究 第91号	日本古文書学会 編	2021/07	978-4-585-32401-0	¥4,180	¥3,344	日本史（前近代）・歴史・研究書	
57	もう一度読みたい日本の古典文学	三宅晶子 編	2021/07	978-4-585-39001-5	¥2,640	¥2,112	文芸・一般書	
58	交錯する宗教と民族—交流と衝突の比較史 〈アジア遊学〉	鹿毛敏夫 編	2021/07	978-4-585-32503-1	¥3,080	¥2,464	日本史（前近代）・歴史・研究書	
59	谷崎潤一郎 美と生命の間	柴田勝二 著	2021/07	978-4-585-39003-9	¥3,960	¥3,168	日本近現代文学・文学・研究書	
60	杉田玄白と江戸の蘭学塾—「天真樓」塾とその門流	片桐一男 著	2021/07	978-4-585-32004-3	¥7,700	¥6,160	日本史（前近代）・歴史・研究書	
61	史料が語る東インド航路—移動がうみだす接触領域 〈アジア遊学〉	水井万里子・大澤広晃・杉浦未樹・吉田信・ 伏見岳志 編	2021/07	978-4-585-32504-8	¥3,080	¥2,464	世界史・歴史・研究書	
62	中世寺院の仏法と社会	永村真 編	2021/06	978-4-585-31001-3	¥13,200	¥10,560	哲学・宗教・民俗・研究書	
63	創られた由緒—近世大和国諸社と在地神道家	向村九音 著	2021/06	978-4-585-31002-0	¥8,800	¥7,040	哲学・宗教・民俗・研究書	
64	書物・印刷・本屋—日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫 編	2021/06	978-4-585-30002-1	¥17,600	¥14,080	日本史（前近代）・歴史・研究書	
65	元朝の歴史—モンゴル帝国期の東ユーラシア 〈アジア遊学〉	櫻井智美・飯山知保・森田憲司・渡辺健哉	2021/06	978-4-585-32502-4	¥3,520	¥2,816	東洋史・歴史・研究書	
66	鉄幹晶子全集 別巻8—拾遺篇 書誌・年譜 〈鉄幹晶子全集〉	逸見久美ほか 編	2021/05	978-4-585-01093-7	¥9,900	¥7,920	日本近現代文学・文学・研究書	
67	大宅壮一文庫解体新書—雑誌図書館の全貌とその研究活用	阪本博志 編	2021/05	978-4-585-30001-4	¥3,850	¥3,080	社会科学・研究書	
68	新しい産業創造へ 〈デジタルアーカイブ・ベーシックス〉	時実象一 監修／久永一郎 責任編集	2021/05	978-4-585-20285-1	¥2,750	¥2,200	図書館学・研究書	

勉誠出版 新刊・近刊書籍リスト（2021・2022年刊行）

No.	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価（税込）	割引価格（税込）	分野	注文数
69	ビジュアル資料でたどる 文豪たちの東京（オンデマンド版）	日本近代文学館 編	2021/05	978-4-585-89163-5	¥3,080	¥2,464	日本近現代文学・文学・研究書	
70	ベトナム語空間ダイクシスとその展開—指示詞から文末詞・感動詞へ	安達真弓 著	2021/05	978-4-585-38001-6	¥11,000	¥8,800	外国語・言語・研究書	
71	三島由紀夫と日本国憲法	藤野博 著	2021/05	978-4-585-39002-2	¥3,300	¥2,640	文芸・一般書	
72	パブリック・ヒストリー入門（オンデマンド版）—開かれた歴史学への挑戦	菅豊・北條勝貴 編	2021/05	978-4-585-82254-7	¥5,280	¥4,224	日本史（近現代）・歴史・研究書	
73	変化する社会とともに歩む学校図書館 〈ライブラリーぶっくす〉	野口武悟 著	2021/04	978-4-585-20081-9	¥2,420	¥1,936	図書館学・研究書	
74	杜甫研究年報 第四号 〈杜甫研究年報〉	日本杜甫学会 編	2021/04	978-4-585-39444-0	¥2,200	¥1,760	東洋文学・文学・研究書	
75	改訂新版 中国学入門（オンデマンド版）—中国古典を学ぶための13章	二松學舎大学文学部中国文学科 編	2021/04	978-4-585-80056-9	¥1,760	¥1,408	入門書・一般書	
76	江戸川乱歩大事典	落合教幸・阪本博志・藤井淑禎・渡辺憲司	2021/03	978-4-585-20080-2	¥13,200	¥10,560	辞・事典・研究書	
77	日本の図書館建築—建築からプロジェクトへ	五十嵐太郎・李明喜 編	2021/03	978-4-585-20074-1	¥3,850	¥3,080	図書館学・研究書	
78	東アジアの歌と文字 〈アジア遊学〉	真下厚・遠藤耕太郎・波照間永吉 編	2021/03	978-4-585-32500-0	¥3,080	¥2,464	日本古典文学・文学・研究書	
79	土地の記憶から読み解く早稲田—江戸・東京のなかの小宇宙	ローザ・カーロリ 著／大内紀彦、フィリップ・ドルネッティ 訳	2021/03	978-4-585-22299-6	¥2,970	¥2,376	人文・一般書	
80	ささえあう図書館（オンデマンド版）—「社会装置」としての新たなモデルと役割 〈ライブラリーぶっくす〉	青柳英治 編著／岡本真 監修	2021/03	978-4-585-90039-9	¥1,980	¥1,584	図書館学・研究書	
81	パリ・ノートルダム大聖堂の伝統と再生—歴史・信仰・空間から考える	坂野正則 編	2021/03	978-4-585-31000-6	¥8,800	¥7,040	哲学・宗教・民俗・研究書	
82	東アジアにおける知の往還 〈アジア遊学〉	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院 共編	2021/03	978-4-585-32501-7	¥3,080	¥2,464	日本古典文学・文学・研究書	
83	勤番武士の江戸滞在記—国枝外右馬江戸詰中日記	岩淵令治 編	2021/03	978-4-585-32000-5	¥11,000	¥8,800	日本史（前近代）・歴史・研究書	
84	日本語文字論の挑戦—表記・文字・文献を考えるための17章	加藤重広・岡端裕剛 編	2021/03	978-4-585-38000-9	¥7,700	¥6,160	日本語・言語・研究書	
85	物語文学の諸相と展開	中野幸一 著	2021/03	978-4-585-39000-8	¥13,200	¥10,560	日本古典文学・文学・研究書	
86	渤海の古城と国際交流	清水信行・鈴木靖民 編	2021/02	978-4-585-22289-7	¥15,400	¥12,320	東洋史・歴史・研究書	
87	韓国・朝鮮説話学の形成と展開	金廣植 著	2021/02	978-4-585-29201-2	¥12,100	¥9,680	東洋文学・文学・研究書	
88	鷹狩の日本史	福田千鶴・武井弘一 編	2021/02	978-4-585-22297-2	¥4,180	¥3,344	日本史（前近代）・歴史・研究書	
89	真田幸弘点取百韻 翻刻と解題	玉城司・小幡伍 編著	2021/02	978-4-585-29204-3	¥9,900	¥7,920	日本古典文学・文学・研究書	
90	増補改訂新版 日本中世史入門—論文を書こう	秋山哲雄・田中大喜・野口華世 編	2021/02	978-4-585-22280-4	¥4,180	¥3,344	日本史（前近代）・歴史・研究書	
91	戦国合戦図屏風の歴史学	高橋修 著	2021/02	978-4-585-22301-6	¥9,900	¥7,920	日本史（前近代）・歴史・研究書	
92	コーパスと近代日本語書き言葉の一人称代名詞の研究	近藤明日子 著	2021/02	978-4-585-28052-1	¥9,350	¥7,480	日本語・言語・研究書	
93	中世の博多とアジア	伊藤幸司 著	2021/02	978-4-585-22300-9	¥10,450	¥8,360	日本史（前近代）・歴史・研究書	
94	観相の文化史	相田満 著	2021/02	978-4-585-29203-6	¥9,900	¥7,920	日本古典文学・文学・研究書	
95	明治の一発屋芸人たち—珍芸四天王と民衆世界	永嶺重敏 著	2021/01	978-4-585-27058-4	¥3,850	¥3,080	美術・音楽・芸能・研究書	
96	絶滅危惧種を喰らう	秋道智彌・岩崎望 編	2021/01	978-4-585-24014-3	¥3,520	¥2,816	自然科学・研究書	
97	和漢朗詠集とその享受 増訂版	三木雅博 著	2021/01	978-4-585-29202-9	¥16,500	¥13,200	日本古典文学・文学・研究書	
98	メソアメリカ文明セミナー	伊藤伸幸 監修／嘉幡茂・村上達也 編	2021/01	978-4-585-22296-5	¥5,500	¥4,400	世界史・歴史・研究書	
99	決定版 南京戦史資料集	偕行社 編	2021/01	978-4-585-22294-1	¥27,500	¥22,000	日本史（近現代）・歴史・研究書	
100	古文書への招待	日本古文書学会 編	2021/01	978-4-585-22277-4	¥3,300	¥2,640	人文・一般書	
101	大嘗祭—隠された古層	工藤隆・岡部隆志・遠藤耕太郎 編	2021/01	978-4-585-21057-3	¥4,180	¥3,344	哲学・宗教・民俗・研究書	

史学科の比較史

歴史学の制度化と近代日本

定価七、七〇〇円(税込)
(本体七、〇〇〇円)

A5判並製カバー装・六〇八頁
二〇二二年五月刊行
ISBN978-4-585-32017-3 C3020

●本書で取り上げる
大学・研究機関

東京帝国大学・史料
編纂所・京都帝国大学・
東北帝国大学・九州
帝国大学・京城帝国
大学・台北帝国大学・
建国大学・商科大学
／東京商科大学(橋
大学)・旧師範学校／
広島文理科大学(広島大
学)・早稲田大学・慶
應義塾大学・立教大学・
龍谷大学・皇典講究所・
國學院大学

私たちの社会と歴史との
関係のあり方は
どのように形作られてきたのか。
その淵源を探る――

近代日本に大学が創設されたころ、西洋の制度を取り入れるなかで、各
大学に歴史学を学ぶ「史学科」が設置された。近世以来の国学・漢学・洋学・
宗教学の系譜、当該大学の置かれた場と地域固有史料との関係など、
それぞれ固有の背景のもと、各「史学科」は独自の理念や方向性のもと
で展開し、近代日本の学的世界を形成した。そして、それらは現在まで
受け継がれ、私たちの社会と歴史との関係のあり方をも規定している。
帝国大学、植民地・外地の大学、官立大学、私立大学より十三の特筆すべ
き大学・機関を抽出。修史事業の開始した一八六九年から一九四五年に至
るまでの、帝国日本における史学科・研究機関の歴史をたどる。比較史的
アプローチより近代社会における史学科の展開と特徴を明らかにする画期
的成果。

目次

●序章 史学科をめぐるヒストリオグラフィ◎小澤実・佐藤雄基

第一部 帝国大学
●第一章 東京帝国大学：東京帝国大学における史学と国史——史料編纂
事業との関わりと卒業生進路から◎佐藤雄基

●第二章 史料編纂所：史料編纂所の歴史家たち——相田二郎を中心に◎近
藤成一

●第三章 京都帝国大学：草創期の京都帝国大学国史学の特徴——時期区
分論と世界史◎上島亨

●第四章 東北帝国大学：創設期の東北大学日本史研究室◎柳原敏昭

●第五章 九州帝国大学：九州帝国大学法文学部における歴史学◎山口輝臣

第二部 植民地・外地の大学
●第六章 京城帝国大学・台北帝国大学・建国大学：京城帝国大学法文
学部の史学系講座とその歴史学研究——台北帝大・満洲・建国大学との比較
的視点を踏まえた考察◎永島広紀

第三部 官立大学
●第七章 商科大学／東京商科大学(二橋大学)：東京商科大学における日
本史教育◎夏目琢史

●第八章 旧師範学校／広島文理科大学(広島大学)：広島文理科大学・広
島高等師範学校における歴史学◎石田雅春

第四部 私立大学
●第九章 早稲田大学：早稲田大学史のなかの歴史学◎廣木尚

●第十章 慶應義塾大学：独立自尊の歴史学——田中萃一郎と三田史学の展
開◎堀和孝

●第十一章 立教大学：小林秀雄の時代——戦前戦中の立教史学科、史学
会、「史苑」◎小澤実

●第十二章 龍谷大学：大正・昭和戦前期の龍谷大学史学科——その沿革
と学風◎坂口太郎

●第十三章 皇典講究所・國學院大学：近代国学と国史学——國學院大學
の国史学科と国史学会◎藤田大誠

●終章 史学科の比較史へ◎佐藤雄基・小澤実

関係年表・執筆者紹介・人名索引

小澤実・佐藤雄基〔編〕

立教大学文学部教授。
専門は西洋中世史・
北欧史・史学史。

立教大学文学部教授。
専門は日本中世史・史学史。

書名	部数
史学科の比較史——歴史学の制度化と近代日本 小澤実・佐藤雄基〔編〕	部
定価7,700円・本体7,000円 A5判並製カバー装・608頁 2022年5月刊行 ISBN978-4-585-32017-3 C3020	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

木俣元一／近本謙介……………編

宗教遺産 テキスト学の創成

「祈り」という人類の普遍的・根源的営みのなかで構築された宗教は、それを信仰し担う人々により、多種多様な形をもって大切に守られ、伝えられてきた。

また、一方で、人間と宇宙の根源的な在り方を規定する拠り所であるが故に、

世界認識における解釈の対立を生じ、時には宗教間の軋轢や破壊を呼び起こすきっかけともなった。

「宗教遺産テキスト学」とは、

人類によるあらゆる宗教遺産を、多様な「記号」によって織りなされた「テキスト」とみなすことで、

その構造と機能を統合的に解明し、人類知として再定義することを目的とし、

「コト」と「モノ」を一体化する新たな学術領域である。

宗教遺産を人類的な営みとして横断的かつ俯瞰的に捉え、

ひと・モノ・知の往来により生成・伝播・交流・集積を繰り返すその動態を、

精緻なアーカイヴ化により知のプラットフォームを構築することで、多様性と多声性のなかに位置づける。

文理を超えた三篇七章、四十の論考により示される、人類の過去・現在・未来をつなぐ新視点。



【執筆者一覧】

- 第一篇：近本謙介・宮治昭・上枝いづみ・影山悦子・檜山智美・濱田瑞美・森雅秀・大谷由香・荒見泰史・程永超・横内裕人・三好俊徳・富島義幸・本井牧子・児島大輔・猪瀬千尋・山本聡美・鷹野佳世子
- 第二篇：木俣元一・秋山聡・松田陽・高橋沙奈美・栗田秀法・周藤芳幸・水野千依・松井裕美・石原美奈子・伊東未来・出口顯・佐々木重洋
- 第三篇：梶原義実・小田寛貴・河江肖刺・遠藤守・井上隼多・野原裕太・阿部泰郎・三谷真澄・野呂靖・小池淳一・楠淳澄

【目次】

カラー口絵
宗教遺産テキスト学序説

第一篇 生成・動態の解明
—— 源流と伝播のメカニズム

第二部 交流と集積の実態解明
—— 仏教文獻・画像の源流および諸地域への伝播の解明
—— 東アジアにおける祈りの記録と記憶

第三部 日本における宗教美術の形成・伝来・復元

第二篇 多様性・多声性の解明
—— 「文化遺産」と「宗教」の歴史と理論
—— 「宗教遺産テキスト学」の基盤構築に向けて

第五部 宗教実践の多様性と遺産化をめぐる諸問題

第三篇 文理融合による新展開と未来への発信

第六部 文理融合型研究の新展開構築

第七部 宗教遺産先端アーカイヴ構築と発信
まとめと展望
あとがき／執筆者一覧

定価 **16,500**円・(本体価格15,000円)
B5 判上製・カラー口絵 8 頁 + 本文 720 頁
ISBN 978-4-585-31008-2 C3014
2022 年 3 月刊行

…詳細目次は裏面をご覧ください。

書名	部数
宗教遺産テキスト学の創成 木俣元一／近本謙介 [編]	定価 16,500 円・(本体価格15,000円) B5 判上製・カラー口絵 8 頁 + 本文 720 頁 ISBN 978-4-585-31008-2 C3014 2022 年 3 月刊行
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

宗教遺産テキスト学の創成

木俣元一／近本謙介〔編〕

定価一六、五〇〇円・本体一五、〇〇〇円
B5判上製カバー装・カラー口絵八頁＋本文七二〇頁
二〇二二年三月刊行・ISBN978-4-585-31008-2 C3014

〈詳細目次〉

カラー口絵

宗教遺産テキスト学序説……………近本謙介

第一篇 生成・動態の解明

第一部 源流と伝播のメカニズム

——仏教文獻・圖像の源流および諸地域への伝播の解明
生き続けるパームヤーン

——大仏破壊の前とその後、現在・未来へ……………宮治 昭

——ガンダーラの浮彫に表された「灌漑」と文獻伝承との関係……………上枝いつみ

——ウズベキスタン南部フアズレバ遺跡出土初期仏教壁画について……………影山悦子

——西魏時代の敦煌莫高窟に見られる習合的圖像表現について……………濱田瑞美

——唐五代敦煌莫高窟の窟本尊と龕内壁画について……………森 雅秀

——曼荼羅の分類を問い直す……………森 雅秀

第二部 交流と集積の実態解明——東アジアにおける祈りの記録と記憶

——東アジア仏教における二百五十戒の実践……………大谷由香

——新出資料と元照撰『撰戒種類図』を通じて……………永超

——朝鮮から明・清へ報告された柳川一件とその影響……………程 永超

——コラム：經典目録からみる中世仏教形成史研究の可能性……………横内裕人

——中世寺院の蔵書における歴史書の位相……………三好俊徳

——阿弥陀堂を宗教遺産として読む……………富島義幸

——夢と託宣の体現する境界性のコスモロジー……………近本謙介

——コラム：佐羅陀山の地蔵……………本井牧子

第三部 日本における宗教美術の形成・伝来・復元

——仏教美術史から宗教遺産学へ……………児島大輔

——八条院の一筆大般若経・五部大乘経……………猪瀬千尋

——宗教遺産としての仏教説話画……………山本聡美

——聖衆来迎寺蔵『六道絵』阿修羅道幅をめぐるイメージとテキスト……………山本聡美

——宗教絵画の光学的調査について……………鴈野佳世子

——近本謙介（ちかもと・けんすけ）

——名古屋大学文学研究科教授。専門は中世宗教文芸。

——著書に『春日権現験記絵注解』（神戸説話研究会編、和泉書院、二〇〇五年・二〇一四年改訂重版）、『天野山金剛寺善本叢刊』第一期・第二卷「因縁・教化」（共編著、勉誠出版、二〇一七年）、『玄奘三蔵——新たな玄奘像をもとめて』（共編著、勉誠出版、二〇二二年）、『ことば・はとけ・圖像の交響——法会・儀礼とアーカイヴ』（編著、勉誠出版、二〇二二年）などがある。

第二篇 多様性・多声性の解明

第四部 「文化遺産」と「宗教」の歴史と理論——「宗教遺産テキスト学」の基盤構築に向けて

——聖なるものと遺産に関する覚書……………木俣元一

——研究への助走として……………秋山 聡

——聖なるモノの来し方、行く末……………松田 陽

——コラム：文化遺産研究からみた宗教遺産学……………高橋沙奈美

——過去でも、記憶でもなく……………栗田 秀法

——コラム：西洋近世美術における礼拝価値と博物館……………周藤芳幸

——近代ギリシアと古代の宗教文化遺産……………水野千依

——天の原型を計測する……………松井裕美

——キュピスムと聖性……………水野千依

——アルペール・グレイズのキリスト教信仰と失われた宗教壁画……………松井裕美

第五部 宗教実践の多様性と遺産化をめぐる諸問題

——聖性の遺産化をめぐる政治力学の理解に向けて……………石原美奈子

——コラム：なぜそこまでして文化財を守るのですか……………伊東未来

——ライオン人間、象に変身できた男……………出口 顕

——コラム：宗教遺産としての共飲共食……………佐々木重洋

第六部 文理融合による新展開と未来への発信

——第三篇 文理融合による新展開と未来への発信……………小田寛貴

——第六部 文理融合型研究の新展開構築……………河江肖刺

——科学技術と人文学……………小田寛貴

——加速装置質量分析による和紙資料の14C年代測定法……………河江肖刺

——コラム：エジプトのピラミッド研究における三次元計測……………井上隼多

——情報学に基づく社会発信研究……………野原裕太

——考古資料3Dデータの図化学システムについて……………遠藤 守

第七部 宗教遺産先端アーカイヴ構築と発信

——宗教遺産学の実践としての宗教文化遺産アーカイヴ構築……………阿部泰郎

——コラム：仏教写本研究とデジタルアーカイヴの展望……………三谷真澄

——コラム：宗教テキストを体験する……………野呂 靖

——コラム：歴注の伝承と民俗……………小池淳一

——宗教遺産としての法相論義文獻……………楠 淳澄

まとめと展望……………木俣元一

あとがき……………木俣元一・近本謙介

執筆者一覧

〈編者紹介〉

木俣元一（きまた・もとかず）

名古屋大学文学研究科教授。専門は西洋中世美術史。

著書に『シャルトル大聖堂のステンドグラス』（中央公論美術出版、二〇〇三年）、『ゴシックの視覚宇宙』（名古屋大学出版会、二〇一三年）、『ゴシック新論 排除されたものの考古学』（名古屋大学出版会、二〇二〇年）などがある。

近本謙介（ちかもと・けんすけ）

名古屋大学文学研究科教授。専門は中世宗教文芸。

著書に『春日権現験記絵注解』（神戸説話研究会編、和泉書院、二〇〇五年・二〇一四年改訂重版）、『天野山金剛寺善本叢刊』第一期・第二卷「因縁・教化」（共編著、勉誠出版、二〇一七年）、『玄奘三蔵——新たな玄奘像をもとめて』（共編著、勉誠出版、二〇二二年）、『ことば・はとけ・圖像の交響——法会・儀礼とアーカイヴ』（編著、勉誠出版、二〇二二年）などがある。

ことば・ほとけ・ほとけ・凶像の

交響 法会・儀礼とアーカイヴ

近本謙介【編】

【目次】

カラー口絵
緒言◎近本謙介

第一部 ことばの響き

中世日本の唱導におけるほとけとことば——説経師の宗教テキスト・アーカイヴス◎阿部泰郎
信貴山と中世聖徳太子伝◎猪瀬千尋
河内源氏の供養と鎌倉幕府の成立——安居院流唱導の表白を題材として◎山野龍太郎
アーカイヴとしての『扶桑略記』◎三好俊徳
蒙書『上大人』・『土田山水』と禪師語録における運用について◎任 占鵬
『維摩経』をめぐる法会・文芸・芸能——『春日権現験記絵』を視座として◎近本謙介

第二部 ほとけの響き

浄土寺浄土堂の造形と思想◎富島義幸
宣陽門院の宗教空間におけるほとけとことば——東寺西院御影堂の中世的発展と貞慶の『舍利講式』をめぐる◎阿部美香
儀礼空間に託された信仰のかたち——高野山大伝法院本堂を中心として◎郭 佳寧
コラム『華嚴経』を見ること、聞くこと、飲み込むこと
——論義における中世僧侶の教理意識とその周辺◎野呂 靖
北条時頼の臨終儀礼再考——俊仍・泉涌寺僧請来の宋代仏教儀礼・作法の視点から◎西谷 功
受の背景◎大谷由香

第三部 凶像の響き

古代・中世仏教儀礼における造形の役割——行儀・凶像・テキスト◎泉 武夫
新出の列女伝図、列士伝図について——楚平伯胤図、聶政図の断片◎黒田 彰
十王信仰初期の変容と唱導◎荒見泰史
神奈川県小田原市総世寺所蔵の十王二使者図について◎橋本遼太
立川流『阿字観』とその伝本
——仁和寺蔵『五智蔵秘抄』の後半部を伝える聖教をめぐる◎海野圭介
文観房弘真が織りなしたテキストの地平
——『御遺告七箇大事』と『三尊合行法』◎ラポー・ガエタン
称名寺素尊本神祇書二結と神道灌頂◎高橋悠介

第四部 アーカイヴとの共鳴

鎮護国家の仏教と列島の景観——仏法・王法相依の儀礼と地域統治◎松尾恒一
民俗社会の信仰と知識——奥三河宗教文献研究の現在◎松山由布子
コラム『男ノ心』は何と同一か——九華山地蔵寺所蔵文献から◎山崎 淳
史料紹介・壬辰請援第一陣の記録——柳夢鼎の燕行録『壬辰赴京日記』◎程 永超
あとがき◎近本謙介

人びとの祈りのかたちを表す法会や儀礼は、ことば・ほとけ・凶像が統合的に機能する空間のうちに執行されてきた。唱導や文芸のことば、仏像彫刻やそれを荘厳する寺院空間、凶像や絵画、さらには宗教空間で執り行われる法会・儀礼の次第や所作、それらを支える教理・教学——諸種の要素の響き合いにより営まれた法会・儀礼の実際を、寺院に伝持されてきたアーカイヴを紐解くことで明らかにする。

領域横断的・複合的な議論と方法論を示す

四部二十三編の論考が奏でる法会・儀礼学の最新機軸。

定価 二二、一〇〇円(税込)
(本体 二一、〇〇〇円)

B5判上製カバー装
カラー口絵一六頁＋本文五二八頁
二〇二二年三月刊行
ISBN978-4-585-31009-9 C3015

【編者紹介】

近本謙介(ちかもと・けんすけ)一九六四年生まれ。名古屋大学人文科学研究科教授。専門は中世宗教文芸。著書に『春日権現験記絵注』神戸大学説話研究会編、和泉書院、二〇〇五年・二〇一四年改訂重版、『天野山金剛寺善本叢刊第一期・第二巻「因縁・教化」(共編著、勉誠出版、二〇一七年)、『玄奘三蔵 新たな玄奘像をもとめて』(共編著、勉誠出版、二〇二一年)、『宗教遺産学の創成』(編著、勉誠出版、二〇二二年)などがある。

書名	部数
ことば・ほとけ・凶像の交響 法会・儀礼とアーカイヴ 近本謙介【編】	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

定価 13,200円(税込)・本体12,000円
B5判・上製カバー装・カラー口絵16頁・本文528頁
2022年3月刊行
ISBN978-4-585-31009-9 C3015

資料論がひらく 軍記・合戦図の世界

アジア遊学 262

井上泰至 [編]

理文融合型資料論と史学・文学の交差

【目次】

カラー口絵

序文：井上泰至

I ● 理文融合型資料論の実践

コディコロジー(文理融合型総合典籍学)の実践(基調講演)：石塚晴通

「コメント」：佐々木孝浩

『聚楽行幸記』の写本学：竹内洪介

「コメント」：佐々木孝浩・堀 新

豊臣秀吉冊封関連史料に紙質から迫る

——三通の明国兵部劄付原本の検討：須田牧子

「コメント」：佐々木孝浩・堀 新

計量テキスト分析を用いた戦国軍記の分類：山本 洋

「コメント」：湯浅佳子・入口敦志

デジタル技術による合戦図屏風の再生

——大坂冬の陣図屏風 模本のデジタル想定復元について：薄田大輔

「コメント」：湯浅佳子・黒田 智・入口敦志

草双紙における上紙摺の意義：佐藤 悟

近世彩色絵画資料における色材の分析：日比谷孟俊・大和あすか

II ● 史学と文学研究の交差 —— 十七世紀の軍記と関連資料への視座

山内首藤氏の「討死」と『平治物語』『平治物語絵巻』『平治合戦図屏風』：川合 康

天正十六年『聚楽行幸記』の成立について：遠藤珠紀

古活字版『帝鑑図説』再考 —— 『帝鑑図説』は本当に(秀頼版)か：高木浩明

甫庵『信長記』とその周辺 —— 『太平記秘伝理尽抄』との関わり：湯浅佳子

『慶長治乱記』にみる関ヶ原合戦軍記の展開：林 晃弘

III ● 兵学と有職学 —— 十九世紀の軍記と関連資料の展開

田安宗武の武家故実研究 —— 『軍器摘要抄』をめぐって：高松亮太

旧海軍兵学校蔵鷲見文庫『兵家系図』をめぐって：井上泰至



【編者紹介】

井上泰至 (いのうえ やすし)

防衛大学校教授。専門は日本近世文学。

主な著書に『近世刊行軍書論』(笠間書院、二〇一四年)、『近世日本の歴史叙述と対意識』(編著、勉誠出版、二〇一六年)、『関ヶ原はいかに語られたか』(編著、勉誠出版、二〇一七年)、『関ヶ原合戦を読む——慶長軍記翻刻・解説』(勉誠出版、二〇一八年)などがある。



定価 二、五二〇円(税込)・本体三、二〇〇円
A5判並製カバー装・口絵二二頁+本文二二四頁
二〇二一年十月刊行
ISBN978-4-585-32508-6 C1321

書名	部数
資料論がひらく軍記・合戦図の世界 理文融合型資料論と史学・文学の交差 【アジア遊学 262】	部
定価 3,520円(税込)・本体3,200円 A5判並製カバー装・口絵12頁+本文224頁 2021年10月刊行 ISBN978-4-585-32508-6 C1321	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

中根千絵・森田貴之
…………… 編

奈良絵本

『太平記』の世界

永青文庫所蔵『絵入太平記』
全図影印ならびに研究

永青文庫所蔵『絵入太平記』は、軍記物語『太平記』全40巻および「剣巻」1巻の各巻を二冊ずつに分けた全83冊(うち目録1冊)の奈良絵本である。

『太平記』の奈良絵本として最大のものであり、さらには各冊に10枚前後、全体で700枚を超える挿絵点数を誇る。奈良絵本として最多であるのみならず、『太平記』のほとんどの章段について挿絵を持っており、『太平記』享受史においても類をみない規模の絵画資料である。

本書では、これまで未公開であった本書の稠密極彩色の美麗な挿絵の全点をフルカラー影印し公開。研究篇では、『太平記』の格段の梗概および挿絵の解説、主要版本との挿絵の対比を示した表を収載、さらには永青文庫蔵『絵入太平記』の歴史的な位置づけを考察した解題を収めた。

日本文化に多大な影響を与えた『太平記』を考えるための基礎資料。

【目次】

◎影印篇

序言——中根千絵

影印篇凡例

目録凡例

永青文庫所蔵『絵入太平記』影印

巻一〜巻八十・剣巻(上・下)

◎研究篇

『太平記』梗概 附：「絵入太平記」挿絵簡注

解説——森田貴之

『絵入太平記』の挿絵当該章段一覧表

あとがき——森田貴之

挿絵の掲載
全744点を
フルカラー影印!

定価 **55,000**円・(本体価格50,000円)

B5判上製
656頁(影印篇392頁・研究篇264頁)
ISBN 978-4-585-39007-7 C3091
2022年3月刊行

【編者プロフィール】

中根千絵(なかねちえ)

愛知県立大学教授。博士(文学)。
専門は中古・中世文学、説話文学。
著書に『いくさの物語と諧謔の文学史』(三弥井書店、二〇一〇年)、『武家の文物と源氏物語絵』(尾張徳川家伝来品を起点として)(共編著、翰林書房、二〇一二年)、論文に『靈巖寺の妙見菩薩——日本の星宿信仰』、『天空の神話学』アジア遊学121(二〇〇九年)などがある。

森田貴之(もりた たかゆき)

南山大学人文学部准教授。
専門は軍記文学、和漢比較文学。
著書に『日本人と中国故事 変奏する知の世界』(小山順子・葛清行共編、勉誠出版、二〇一七年)、論文に『太平記』の挿絵、宋学——遺稿と『空子』と殿周説話と(『軍記物語講座』第三巻、平和の世は来るか、太平記『花鳥社、二〇一九年)などがある。

書名	部数
<p>奈良絵本『太平記』の世界 永青文庫所蔵『絵入太平記』全図影印ならびに研究</p> <p>中根千絵・森田貴之 [編]</p>	<p>定価 55,000円(本体価格50,000円)</p> <p>B5判上製・656頁 ISBN 978-4-585-39007-7 C3091 2022年3月刊行</p>
ご送付先ご住所・氏名(通信欄)	

合戦図

kassen-zu

中根千絵・薄田大輔(編)
描かれた武もののぶ
勉誠出版

『合戦図』を知るための基礎資料をフルカラーで集成！
最先端の研究成果を具備した図書館必備の決定版！

戦乱の世を生きた人々の武威を示し、また戦いの記憶を後世に伝える合戦図。国宝・貴重書・在外書を含む基礎資料三十八作品をフルカラーで集成。絵巻・扇面・絵入り版本・奈良絵本・屏風など様々な形で展開したこれらの構図やモチーフの変遷を一覧する。美術・文学・歴史などの観点を踏まえた十二本の論考を収載。

図録編収録合戦図(フルカラー掲載)

- ◆平治物語絵巻 三条殿夜討巻 ポストン美術館蔵 ◆国宝 平治物語絵巻六波羅行幸巻 東京国立博物館蔵
- ◆重要文化財 前九年合戦絵巻 国立歴史民俗博物館蔵 ◆国宝 蒙古襲来絵巻 三の丸尚蔵館蔵
- ◆重要文化財 後三年合戦絵巻 東京国立博物館蔵 ◆重要文化財 結城合戦絵巻 国立歴史民俗博物館蔵
- ◆平家物語絵巻 林原美術館蔵 ◆太平記絵巻 埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵 ◆奈良絵本源平盛衰記 海の見える杜美術館蔵
- ◆平家物語扇面 徳川美術館蔵 ◆平家物語・平治物語扇面画帖 立教大学図書館蔵
- ◆保元平治物語絵巻 阿テノン美術館蔵 ◆堀川夜討絵巻 東京国立博物館蔵 ◆堀川夜討絵巻 神奈川県立歴史博物館蔵
- ◆重要文化財 東照社縁起絵巻 日光東照宮蔵 ◆関ヶ原合戦図絵巻 大東急記念文庫蔵 ◆関ヶ原合戦図絵巻 奈良県立美術館蔵
- ◆安徳天皇縁起絵巻 赤間神宮蔵 ◆一の谷合戦図屏風 智積院蔵 ◆保元平治合戦図屏風 ネットロポタン美術館蔵
- ◆高館物語語図屏風 大英博物館蔵 ◆保元合戦図屏風 岡山県立美術館蔵 ◆一の谷・屋島合戦図屏風 今治市河野美術館蔵
- ◆一の谷合戦図屏風 埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵 ◆一の谷合戦・二度之懸図屏風 静岡県立美術館蔵
- ◆太平記図屏風 ライオン国立民族学博物館蔵 ◆重要文化財 関ヶ原合戦図屏風 大阪歴史博物館蔵
- ◆重要文化財 大坂夏の陣図屏風 大阪城天守閣蔵 ◆長篠合戦図屏風 名古屋市博物館蔵 ◆賤ヶ岳合戦図屏風 大阪城天守閣蔵
- ◆川中島合戦図屏風 和歌山県立博物館蔵 ◆長篠合戦図屏風 犬山城白帝文庫蔵
- ◆長篠長久手合戦図屏風 徳川美術館蔵 ◆小牧長久手合戦図屏風 名古屋博物館蔵
- ◆長篠・長久手合戦図屏風 下絵 東京国立博物館蔵 ◆山崎合戦図屏風 大阪城天守閣蔵
- ◆関ヶ原合戦図屏風 岐阜市歴史博物館蔵

論考編論文執筆者

- ◆薄田大輔 ◆出口久徳 ◆龍澤 彩 ◆小助川元太 ◆鈴木 彰 ◆滝澤みか
- ◆森田貴之 ◆井上泰至 ◆小口康仁 ◆松浦由起 ◆湯浅佳子 ◆竹内洪介

編者紹介

- 中根千絵(なかねちほ) 愛知県立大学教授、博士(文学)。
- 薄田大輔(うすだだいすけ) 徳川美術館学芸員、専門は日本近世絵画。



定価一七、六〇〇円(税込)
(本体一六、〇〇〇円)
B5判上製カバー装・八九六頁
二〇二二年六月刊行
ISBN978-4-585-30002-1 C3000

書名	部数
合戦図 描かれた武 <small>もののぶ</small> 中根千絵・薄田大輔(編)	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

定価 17,600円・本体16,000円
B5判上製カバー装・416頁
2021年12月刊行
ISBN978-4-585-32013-5 C3021

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

福州版一切経調査研究会

編

宋版一切経（福州版） 調査提要

本源寺蔵の調査を通して

東アジアの仏教伝播、そして、

木版印刷の文化伝播を考える上で、各地に襲蔵される「宋版一切経」は

避けては通ることのできない

重要な文化遺産である。

近年、書誌学的・目録学的研究の進展を見せる

「宋版一切経」の中でも「福州版」について、

実際の調査の中から得られた、

特徴的な装訂・版式、

補刻の様相や印記等に関する知見を提示。

さらには、関連論文、附録を収載した、

初めての「福州版一切経」調査ハンドブック。

【福州版一切経調査研究会（五十音順）】

- 上杉智英 京都国立博物館研究員
- 落合俊典 国際仏教学大学院大学教授
- 高橋悠介 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫准教授
- 中村一紀 三の丸尚蔵館調査補佐員
- 野沢佳美 立正大学文学部教授
- 前島信也 国際仏教学大学院大学日本古写経研究所研究員
- 牧野和夫 実践女子大学名誉教授、国際仏教学大学院大学日本古写経研究所特別研究員
- 南 宏信 佛教学講師
- 矢口郁子 開成中学・高等学校教諭
- (故) 渡辺信和 元同朋大学仏教文化研究所研究室長

【目次】

はじめに

大蔵経調査の必要性

一 印刷漢文大蔵経の簡紹・説明と福州版大蔵経の問題点

二 福州版大蔵経——「東禪寺版（一切経）」「開元寺版（一切経）」調査——その現場と調査など

三 書物としての宋版一切経——書物各部の名称・版式としての名称など

四 福州版の装訂について

A 調書項目の解説と記入の実例・注意点

B 千字文番号と函取納の順序——調書余白の利用

① 調査年月日と調査者名の記入

② 「帙」表紙——⑤ 寸法と併せて

③ 「外題」

④ 存「完存・欠（前・途中・後）断簡・殆ど損傷」

⑤ 刊・写

⑥ 見返し——共紙・その他

⑦ 印記

⑧ 題記——巻首尾の題記・版心などの施財刊語など

⑨ 内題

⑩ 版心 附、印造記——板数・面数・界高・版心（柱）位置を併せて

⑪ 尾題——刊行（場）列位・（尾題記）

⑫ 印面

⑬ 五 応用篇

A 面数と厚さ——五面一紙混入のことなど——

B 題記・入れ木（埋め木）

C 混合帖など

論考

宋版大蔵経と女性刻工……野沢佳美

書陵部蔵福州版一切経の本文欠落巻について……中村一紀

宋版一切経補刻葉に見える「下州千葉寺了行」の周辺……牧野和夫

附録

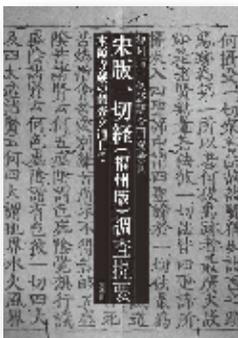
題記一覧——本源寺蔵を軸に——

主要参考文献一覧（福州版一切経関連に限る）

用語索引

あとがき……牧野和夫

執筆者一覧



定価 **7,150**円・(本体価格6,500円)

A5判並製・304頁
ISBN 978-4-585-31010-5 C3015
2022年3月刊行

書名	部数
宋版一切経(福州版)調査提要 本源寺蔵の調査を通して 福州版一切経調査研究会 [編]	定価 7,150 円(本体価格6,500円) A5判並製・304頁 ISBN 978-4-585-31010-5 C3015 2022年3月刊行
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

宗教芸能としての能楽

アジア遊学 265

高橋悠介 [編]

寺社文化圏や唱導との関わりの中から、多くの作品が生み出されてきた能楽。

能作品には、中世の寺社のありようや信仰、学問、宗教文化が反映されているが、その宗教的な背景は、未だ充分に明らかにされていない部分が多い。

中世日本の宗教的な知は、どのように能楽に流れ込み、作品世界を形成していったのか。

能作品や能楽論の中の

仏教や神祇に関わる面を掘り下げること、

宗教芸能としての能楽について考えるところにも、

能を通して、室町の宗教文化の一端を明らかにする。

【編者紹介】

高橋悠介 (たかはし ゆうすけ)

慶應義塾大学附属研究所道文庫准教授。専門は日本中世文学・寺院資料研究。主な著書、論文に『禅竹能楽論の世界』(慶應義塾大学出版会、二〇一四年)、『諸社口決』と密教的社参作法の展開』(中世に架ける橋)『森話社』(二〇二〇年)、『身体生成をめぐる思想と中世仏教——五蔵観・魂魄・胎内説』(日本宗教史3 宗教の融合と分離・衝突)吉川弘文館(二〇二〇年)などがある。

定価 二,二〇〇円(税込)・本体 三,〇〇〇円
A5判並製カバー装・二八〇頁
二〇二二年一月刊行
ISBN978-4-585-32511-6 C1314

【目次】

序言 ● 高橋悠介

1 能をめぐる宗教的環境／能に描かれる宗教空間

除魔・結界の呪法と芸能——「翁」の成立環境と、その近隣 ● 大東敬明
春日若宮と能楽

——若宮臨時祭、法楽能、祈雨立願能をめぐる ● 天野文雄

謡曲《絵馬》管見——長祿三年伊勢斎宮の旅 ● 芳澤元

能《巻絹》に描かれた熊野の神仏 ● 高橋悠介

2 能作品と仏教説話／唱導／要句

韋駄天説話の源流と変容

——唐宋代の諸伝承と律学受講の場を視点に ● 西谷功

能《安字》の説話的考察——文字を買う話と男装の論理 ● 岩崎雅彦

能《海土》の構想 ● 中野顕正

能《重衡》の表現と思想

——「寒林に骨を打つ霊鬼は」の句をめぐる ● 猪瀬千尋

能における宗教関係語句一斑

——《放下僧・春日龍神・楊貴妃・草子洗・三輪》について ● 落合博志

【コラム】「狂人走れば不狂人も走る」攷——《関寺小町》試注 ● 佐藤嘉惟

3 能楽論・能作品と教説の間

世阿弥と如来蔵——「離見の見」の内包するもの ● 小川豊生

能《芭蕉》の構想と草木成仏説 ● 高尾祐太

《求塚》の墮地獄と論理 ● 中嶋謙昌

【コラム】術婆伽説話の生成と展開

——恋は病か、破戒か、神を招くか ● 平間尚子

4 謡曲注釈学の黎明期

【コラム】「江口本開書」——初期の謡曲注釈書とその伝来 ● 高橋悠介

吉田兼右・兼見の謡曲注釈と『謡抄』

——『謡抄』前史の謡曲注釈と吉田神道 ● 野上潤一

書名	部数
宗教芸能としての能楽 高橋悠介 [編]	部
定価 3,300円(税込)・本体 3,000円 A5判並製カバー装・280頁 2022年1月刊行 ISBN978-4-585-32511-6 C1314	
ご送付先ご住所 (通信欄)	

中世神道入門

カミとホトケの織りなす世界

伊藤 聡
門屋 温
〔監修〕

新井大祐
鈴木英之
大東敬明
平沢卓也
〔編〕

ダイナミックな発展を遂げた
中世日本の神道がわかる、
初のガイドブック！

日本古来の信仰でありながらも、
時代とともにめまぐるしい変化を遂げてきた「神道」。
中世日本では、仏教と神道の融合現象——「神仏習合」が
極めて発展的な展開をみせ、両部神道・伊勢神道・吉田神道など、
さまざまな神道の流派の諸派が生まれた。
また、儀礼のありかた、

体系的に組み合わせられた空間・図像・言説などにより、
独自の世界観・世界像を築き、同時代の宗教のみならず
政治・文化にも多大な影響を与えてきた。
近年、急速に研究の進展する「中世神道」の見取り図を、
「神道の流派」「基本的な概念」「中世の神々」「神話モチーフ」
「神道をめぐる人々」「イメージ」「神道書」など
テーマごとに立項し、第一線で活躍する研究者が、
多数の図版とともにわかりやすく解説する決定版！

【目次】

カラー口絵
序言

1 総論

中世神道とは／神仏習合の諸相／中世神道
流派概説／神道伝授のかたち

2 中世の神々

古典神の変貌／広がる信仰／習合神の諸相
／鎌倉仏教の神

3 中世神話のモチーフ

4 中世神道の イメージとイコノロジー

5 中世神道をめぐる人々

中世日本紀／両部神道／伊勢神道／山王神
道／吉田神道／その他

6 中世神道書の世界

【附説】欧米言語による中世神道研究
【附録】中世神道研究のための文献リスト
あとがき

執筆者紹介

定価 四、一八〇円（税込）
本体三、八〇〇円

A5判並製カバー装・

カラー口絵八頁＋本文三三九頁

二〇二二年四月刊行

ISBN978-4-585-31006-8 C1014

掲載図版
70点超！

【監修者プロフィール】

伊藤 聡 (いとう・さとし)

茨城大学人文社会科学部教授。専門は日本思想史、神道論。
著書に「神道の中世——伊勢神宮・吉田神道・中世日本紀」
(中公選書、二〇二〇年) などがある。

門屋 温 (かじや・あつし)

清泉女子大学非常勤講師。専門は日本宗教思想史。
論文に「神道をめぐる幻想の正体」「療法としての歴史
〈知〉」森話社、二〇二〇年) などがある。

…詳細目次は裏面をご覧ください。

書名	部数
中世神道入門 カミとホトケの織りなす世界 伊藤聡・門屋温〔監修〕 新井大祐・鈴木英之・大東敬明・平沢卓也〔編〕	部
定価 4,180 円・(本体価格3,800円) A5判上製・カラー口絵8頁＋本文392頁 ISBN 978-4-585-31006-8 C1014 2022年4月刊行	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

中世神道入門

カミとホトケの織りなす世界

伊藤聡・門屋温〔監修〕
新井大祐・鈴木英之・大東敬明・平沢卓也〔編〕

定価 四、一八〇円・本体 三、八〇〇円
A5判上製カバー装・カラー口絵八頁＋本文三九二頁
二〇二二年四月刊行・ISBN978-4-585-31006-8 C1014

〈詳細目次〉

カラー口絵
序言

1 総論

- 1 中世神道とは●中世神道とは○〔通史〕古代から中世へ／〔通史〕中世神話・中世日本紀／〔通史〕中世から近世へ／〔通史〕近世からみた中世
 - 2 神仏習合の諸相●神身離脱○護法善神●本地垂迹説○御霊信仰○神国思想○神観念
 - 3 中世神道流派概説●両部神道○伊勢神道○山王神道○三輪流神道○御流神道○吉田神道と吉田家○浄土系諸派と神道
 - 4 神道伝授のかたち●神道灌頂○神道書の形態
- 〔コラム〕中世神道と仏教普遍主義

2 中世の神々

- 1 古典神の変貌●国常立尊・天御中主神○天照大神○月読尊○素戔嗚尊○蛭見(恵比寿)○天兒屋命
 - 2 広がる信仰●八幡○春日○住吉○稻荷(荼吉尼天)○三輪○日吉山王○天神○熊野○諏訪○二所(伊豆山・箱根)○三嶋○富士浅間
 - 3 習合神の諸相●牛頭天王○威王権現○清瀧権現○赤山明神・新羅明神○摩多羅神○宇賀弁才天○荒神○童子神○妙見
 - 4 鎌倉仏教の神●三十番神○禪と神々
- 〔コラム〕中世神道・中世の習合神と芸能 ―金春禪竹『明宿集』を通して

3 中世神話のモチーフ

- 第六天魔王と大日印文○盤生王―陰陽道の神話○天竺からの飛来―漂着○野馬台詩と百王思想○神功皇后説話の変容○藤原氏の神話○呉太后後裔説○家・職・去の神話
- 〔コラム〕中世宗教における身体性および性の問題

〈監修者・編者プロフィール〉

〔監修者〕

伊藤聡 聡(いとう)さとし 茨城大学人文社会科学部教授。専門は日本思想史、神道論。

著書に『神道の中世―伊勢神宮・吉田神道・中世日本紀(中公選書、二〇二〇年)などがある。

門屋温 温(かどや)あつし 清泉女子大学非常勤講師。専門は日本宗教思想史。

論文に「神道をめぐる幻想の正体」(『療法としての歴史』知『森話社』二〇二〇年)などがある。

〔編者〕

新井大祐 (あらい・だいすけ) 國學院大學教育開発推進機構准教授。専門は中・近世神道思想史、社寺縁起。

著書に『言説・儀礼・参詣―「場」といとなみの神道研究」(共著、弘文堂、二〇一九年)がある。

鈴木英之 (すずき・ひでゆき) 北海学園大学文学部教授。専門は日本思想史。著書に『中世学僧と神道―了譽聖師の学問と思想』(勉誠出版、二〇二二年)がある。

大東敬明 (だいてい・たかあき) 國學院大學研究開発推進機構准教授。専門は神道史。著書に『真福寺善本叢刊第三期 神道篇(4) 中世神道資料集』(阿部泰郎と共編、臨川書店、二〇二〇年)がある。

平沢卓也 (ひらさわ・たくや) 立教大学助教。専門は日本思想史。論文に「吉田家と日本書紀―吉田兼俱の神代巻講釈を中心に」(遠藤慶太・河内春人・関根淳・細井浩志編『日本書紀の誕生―編纂と受容の歴史』八木書店、二〇一八年)などがある。

4 中世神道のイメージとイコノロジー

- 1 神器・神宝●三種の神器○十種神宝○御正体
 - 2 神宮をめぐるイコン●心御柱○御形文・千木・堅魚木○屋形文錦・小車文錦
 - 3 神道説と図像●『麗氣記』神体図○『両宮本誓理趣摩訶衍』・天照皇大神遷幸時代抄・『日講真本紀』○日本図
 - 4 神道曼荼羅●本地仏曼荼羅／垂迹曼荼羅／本迹曼荼羅○官曼荼羅／参詣曼荼羅
- 〔コラム〕天河弁才天曼荼羅

5 中世神道をめぐる人々

- 1 重源○貞慶○度会行忠○頼尊・寛兼○度会常昌(常良)○慈遍○文観○度会家行○北畠親房○銀阿○了譽聖阿○吉田兼俱
- 〔コラム〕偽書・偽経(仮託書)

6 中世神道書の世界

- 1 中世日本紀●古事記・日本書紀・旧事本紀・古語拾遺○日本紀注釈
 - 2 両部神道●中臣祓訓解○麗氣記○鼻掃書○三輪大明神縁起
 - 3 伊勢神道●倭姫命世記○伊勢二所太神宮神名秘書○太神宮参詣記○豊原神風和記
- 〔コラム〕中世神道書における仏教語彙(2)「仏法神道麗氣記」三輪大明神縁起
- 4 山王神道●耀天記○山家要略記○溪風拾葉集
 - 5 吉田神道●唯一神道名法要集○神道大意
 - 6 その他●神道集○諸神本懐集○番神問答記○神皇正統記

〔附説〕欧米言語による中世神道研究／〔附録〕中世神道研究のための文献リスト

あとがき／執筆者紹介

書物学 19

BIBLIOLOGY

古今東西の知の宝庫に分け入り、
読書の楽しさを満喫する！

定価 一、九八〇円(税込)
定価 一、八〇〇円(+税)
B5判並製・一二八頁(フルカラー)
二〇二二年二月刊行
ISBN978-4-585-30719-8 C1000

◎特集

紙のレンズから見た古典籍

古典籍や古文書に使用されている紙は、
いったいどのような製法により作られたものなのか。
先人たちは紙にどのような加工や工夫を凝らしてきたのか――。
旧来の書誌学・書物学的検討に加え、
高精度デジタルマイクロスコープや機械学習など、
最先端の技術を組み合わせて、
古典籍の世界を「紙」というレンズから探る！

◎特集もくじ

- ◎穀物澱粉添加による紙の改質：江南和幸
- ◎和紙のモルフオロジー解析：澤山茂
- ◎家の学問と写本にみる打紙加工：赤尾栄慶
- ◎源氏物語写本の打紙は何を語るか：横井孝
- ◎明融本源氏物語と打紙：上野英子
- ◎『修紫田舎源氏』の絶板と用紙：佐藤悟
- ◎『大清聖祖仁皇帝實録』の紙質：徐小潔
- ◎打紙再現試料から繊維の形状と表面の粗さを見る：大和あすか・鈴木七美
- ◎紙質観察画像のデータベース構築と自動分類に関する試み：中村覚
- ◎データ駆動型研究とマテリアル分析：山本和明

◎特別寄稿

御膳本草の周辺――それぞれの写本：横山學
熱帯季題と風土――台湾の俳句と郷土の創成：井田太郎
西洋古典建築書にみられる東向き図書館：吉川也志保

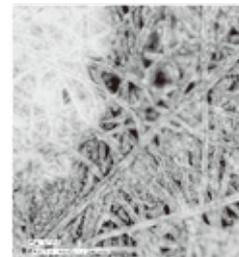
◎新連載

松朋堂 新収古書解題

二〇二〇年、あらたに開業した古書店「松朋堂」。店主が出会い、惚れ込んだ様々な古典籍の書誌・来歴を紹介する瞳目の新連載！



古典籍に用いられた紙の拡大画像



◎連載

〈新連載〉松朋堂新収古書解題：佐藤道生
書物の声を聞く――書誌学入門：佐々木孝浩
書籍はどう動いたのか――近代書籍流通史料の世界：磯部敦
西洋古書の遠近法：雪嶋宏一

書名	部数
<p>〈書物学 19〉 紙のレンズから見た古典籍 編集部 [編]</p>	<p>定価 1,980円・本体1,800円 B5判並製・128頁(フルカラー) 2022年2月刊行 ISBN978-4-585-30719-8 C1000</p>
ご送付先ご住所 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

中国道教美術史

漢魏晋南北朝篇

定価 38,500 円
本体価格 35,000 円B5判上製カバー装・552頁
ISBN978-4-585-37001-7 C3071
2022年2月刊行

李松〔著〕／土屋昌明・齋藤龍一〔監訳〕／廣瀬直記・熊坂聡美・因幡聡美〔訳〕

道教の美術とはなにか

道教の生成プロセスにまでさかのぼり、春秋戦国時代から漢そして三国時代にいたる、老子の神格化と視覚化の関係を「先道教美術」と位置付け、多くの新出資料を提示し徹底的に検討する。さらに南北朝時代北魏を「道教美術の成立」と定義し、北魏から隋時代にいたる膨大な道教像を時代ごとに整理し網羅的に集成、最新の研究に裏付けされた詳細な解説を付す。文献を中心とした道教研究とは一線を画し、現地調査による道教空間への接近、帛書・銅鏡・画像石・書法・絵画・彫刻など、道教美術研究の第一人者による「モノ」を起点とした総合的な考察の成果を示す。道教美術の全貌をオールカラーによる豊富な図版と共に紹介する大著、待望の邦訳。



【目次】

前言 李 松
訳者説明

第一章 先道教美術

- はじめに 「先道教美術」について
第一節 楚墓の文物から見た人と鬼神が共存する世界
第二節 漢晋銅鏡：羽人から諸神の出現へ
第三節 漢代の老子図像
第四節 洛陽から陝北へ：地下にあるカラーの天界
春秋戦国～漢代道教美術年表

第二章 引用と相互作用： 南北朝時代から隋時代の道教石刻造像

- はじめに 未完成の道教図像に関する設計書
——顧愷之『画雲台山記』
第一節 北魏：長安から耀県へ
第二節 西魏「大統」時代
第三節 北周・北斉：限りある発展
第四節 隋代：天尊の出現
三国～隋代道教美術年表

訳者あとがき
訳者紹介

【著者紹介】

李松（ペンネーム：李淞、りしょう、Li Song）北京大学芸術学院教授、美術学博士。専門は中国宗教美術史。
著書に『神聖図像 李淞中国美術史文集』（人民出版社、2016年）、『陝西仏教芸術』（文物出版社、2008年）、『遠古至先秦絵画史』（人民美術出版社、2004年）、『長安芸術と宗教文明』（中華書局、2002年）など。編著に『道教美術新論—第一屆道教美術史国際研討会論文集』（山東美術出版社、2008年）などがある。この分野で中国を代表する研究者である。

【訳者紹介】

土屋昌明（つちや・まさあき）専修大学国際コミュニケーション学部教授。専門は中国文学・思想史。
編著書に『道教の聖地と地方神』（ヴァンサン・ゴースールとの共編、東方書店、2016年）、論文に「女性道士焦真静の巡礼」（日本道教学会『東方宗教』第132号、2020年8月）、「黄泉国と道教の洞天思想」（日本古事記学会『古事記年報』58、2016年3月）などがある。**齋藤龍一**（さいとう・りゅういち）大阪市立美術館主任学芸員。専門は中国仏教・道教美術史。
編著書に『展覧会図録「道教の美術」』（読売新聞社、2009年）、論文に「中国南北朝時代における維摩像の展開と地域性—道教像との図像的関連に注目して—」（『仏教芸術』第6号、2021年3月）、「唐時代における石造道教像の研究—老君・天尊像を中心に—」（『國華』第1485号、2019年7月）などがある。**廣瀬直記**（ひろせ・なおき）

専修大学経済学部非常勤講師。専門は中国宗教史・思想史。

熊坂聡美（くまさか・さとみ）

成城大学民俗学研究所研究員・成城大学芸学部非常勤講師。

専門は中国仏教美術史。

因幡聡美（いなば・さとみ）

専門は中国仏教美術史。



書名	部数
中国道教美術史 漢魏晋南北朝篇 李松〔著〕／土屋昌明・齋藤龍一〔監訳〕 廣瀬直記・熊坂聡美・因幡聡美〔訳〕	部
定価 38,500 円（本体価格 35,000 円） B5判上製カバー装・552頁 2022年2月刊行 ISBN978-4-585-37001-7 C3071	
ご送付先住所・氏名（通信欄）	

地域文化の可能性

木部暢子 [編]

定価 **2,970** 円 / 本体価格 2,700 円

A5判並製カバー装
224頁+カラー口絵16頁
ISBN978-4-585-32015-9 C1020
2022年3月刊行

地域の文化を守り、継承し、活用していくために——

現代社会はこれまでに経験したことのないさまざまな問題に直面している。

とりわけ、地域社会の変貌や大規模災害により多様性が急速に失われつつあるなか、

私たちは過去の文化の多様な姿とその蓄積から

何を導き出し、未来の地域社会をどのようなものとして構想すべきか。

身近な地域文化を対象として、そこに生み出され、受け継がれてきた知恵の数々や努力の軌跡に光を当て、

民俗学、文化人類学、言語学、保存科学、歴史学、自然環境学等の諸分野から

地域文化の再評価や復興にアプローチする。

【目次】

はじめに ■小池淳一

第1章 地域を見つめ、つなげる——地域文化資源の「発見」と「活用」 ■小池淳一

第2章 地域資料をめぐるひとびと ■丹羽謙治

第3章 奄美の文化資源 ■桑原季雄

第4章 ことばと地域文化 ■木部暢子

第5章 学生が取り組む地域歴史遺産の保全と活用 ■添田仁

第6章 自然資本を活かした地域の可能性 ■中静透

第7章 災害支援から考える地域文化と博物館 ——地域文化の「再発見」と「保存・活用」—— ■日高真吾

第8章 原子力災害被災地域における民間資料の保存と活用 ■渡辺浩一

執筆者一覧

索引



【編者プロフィール】

木部暢子 (きべのぶこ)

国立国語研究所特任教授。専門は日本語学。研究テーマは日本の方言、音韻・音声、アクセント。

著書に『日本語アクセント入門』(共著、三省堂、2012年)、『そうだったんだ日本語 ジャッとで方言なおもしろか』(岩波書店、2013年)、『方言学入門』(共編著、三省堂、2013年)、論文に「消えゆく言語・方言を守るには」(『國學院雑誌』119-11、2018年)などがある。

書名	部数
地域文化の可能性	定価 2,970 円 / 本体価格 2,700 円
木部暢子 [編]	A5判・並製カバー装・224頁+カラー口絵16頁 2022年3月刊行 ISBN978-4-585-32015-9 C1020
ご送付先ご住所 (通信欄)	部